

「みどり・市民ネット」は「●市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現●市民にわかりやすく開かれた議会をめざす●地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機関として議会を活性化●それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重し協力・協働」を基本姿勢とする超党派の6人会派です。所属議員は独自に活発に活動しています。



小金井市議会議員

2012年7月7日

片山かおるの

ちょっとカエル通信



おとな子どももいっしょに育つ町にしよう

学校・保育園給食は内部被ばくゼロへ! 男女共同参画に女性非正規労働者の視点も入れよう

補正予算

給食の放射能測定／ 東小金井駅西口改札など

6/25に珍しく予定通り、6月議会が終了。当初提出議案は少なかったのですが、途中提出の補正予算がいくつかあり。東小金井駅西口改札開設のための影響調査委託の補正予算が、最終日に出されました。商工会からも議員に説明があり、一年間JRと話し合ってきた結果、開設を認める形になったそうです。

小学校給食民間委託は組合と協議が整わず来年(2013年)4月から先延ばしに。

給食の放射能測定は予算審議の中でも詳しく状況確認され、陳情も採択されたので市はより踏み込んだ対応が可能となりますが、市民が持ち込んだ食材を測ってきた放射能測定室がこれからどうなるかはまだ先が見えません。

ごみ処理施設建設等 調査特別委員会 (6/19)

継続審議されていた『廃棄物処理(特に生ごみ等に対して)に関する施策の推進に対し、広く検討する環境作りの構築を求めている陳情』が採択されました。私は賛成討論の中で「ごみ処理は市民の協力が不可欠。HDM生ごみ減容処理の実証実験は実施にむかった検討が進められている。市民と行政が協働して広く検討する場は必要」と述べました。昨年、業者に委託しておこなわれた、生ごみ循環まちづくりの研究報告書ができあがっているとのこと。ぜひ参考にしたいと思います。

片山かおるの一般質問6/11

1. 原発事故後の子どもたちの 食の安全と充実を 給食から実現させよう!

学校教育部長、子ども家庭部長から「内部被ばくを防ぐ観点で検出限界値以上の放射能値が出た場合は、食材の使用を控える」といった考えを再度確認。3月議会の漢人議員の質問の際にも同様の答弁がありました。東京都の測定事業に申し込むことで事前測定が促されます。武蔵野市にならった形で産直での食材購入を進めれば事前測定は可能ですが、産直での購入は難しい、給食全体のPRIについてはHP等で行っていくという答弁がありました。これまで小金井の給食は栄養士と調理員の協力のもと、高い質が保たれてきていました。食育への取り組みも以前から自主的に行われていました。もっと内外に自慢すべきものかと思えます。

2. 女性と非正規労働問題。 第4次行動計画と 女性のエンパワメントについて

行動計画を策定するにあたって正規職員だけではなく、非常勤職員への意識調査をすべきという意見は、今後、審議会に伝えるとのこと。労働契約法改正案も提案され一般に非正規女性労働者が増える中では、ワークライフバランスを謳う行動計画を作るにあたって必要な調査です。男女共同参画室が作成した「知っておきたいデートDV」冊子を中学生に配布することには配慮が必要という答弁。思春期まっさかりの中学生にこそ知ってもらいたい情報です。

「大飯原発」の再稼働を行わないことを求める意見書」「子ども・被災者支援法案の充実を求める意見書」が可決

議会前半の6/11、全国でもいち早く、緊急提案された大飯原発再稼働に反対する意見書が賛成多数で可決されました。反対は民主党3人と改革連合1人。他は皆賛成という驚きの結果です。

原発労働者の被ばく隠しの問題が明らかになりました。稼働してもしていなくても被ばく労働者を再生産する原発システムそのものに、はっきりNOと言うべきです。

私が提案した「子ども・被災者支援法案の充実を求める意見書」も賛成多数で可決されました。今国会で成立しましたが、原発事故被災者にとっては、より充実と実効性が求められる大事な法律です。福島現地の原発被災者、自主避難している人びと、放射能から子どもを守ろうとする親たち、各NPOなども注目している法律です。チェルノブイリ法が基盤となっています。

7/15に行われた第2回福島避難者子ども健康相談会の場でも、健康相談のみならず生活相談、法律相談などがありました。母子で自主避難してきている人たちの窮状が先日は新聞報道もされています。

法の運用に当たっては、原爆での被曝者や、水俣病患者のように、被災者間の格差が生まれませんか、今後の運用を見守り随時意見をあげて行かなくてはならないと思います。

小金井の議会基本条例、今どうなっているの？

公聴会も開かれて慎重審議された議員定数削減の陳情は否決。すぐに議員提案の条例案が出されましたが否決されました。

議会日程以外に、施設白書(小金井の公共施設の全体を調査したもの)の勉強会や、議会基本条例についての全議員懇談会などもありました。議会基本条例への全議員の理解を深める場のはずですが、議会報告会への消極的な意見もあり、なかなかまとまらない雰囲気です。

7/1に議会基本条例シンポジウムが開かれました。パネラーの所沢市議の発言にもあった「期間をかせずに時間をかける」方法で、なんとか今任期中にできあがることを望みます。7月、8月は議会運営委員会が集中審議することのこと。

☆ お知らせ ☆

食育基本条例制定に向けたシンポジウム

『今なぜ食育なのか？ 食育ってなに？ Koganei-Style ってなに？』

日時：9月2日(日) 14:00~16:00

場所：商工会館2F

主催：小金井食育推進議員懇談会

片山かおるプロフィール

1966年生れ。1期目、総務企画委員、ごみ処理施設建設等調査特別委員、青少年問題協議会委員、小金井市土地開発公社評議員会評議員、議会報編集委員。市民自治こがねい共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。市民自治をめざす三多摩議員ネット、自治体議員政策情報センター、みどりの未来、福島原発震災情報センター、全国フェミニスト議員連盟、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワークなどにも参加。

片山かおると漢人あきこの議会報告会

日時：8月19日(日) 18:00より

場所：市民交流スペース カエルハウス

(中町3-10-10-103 農工大通り沿い)

閉会中の議会日程 (議会事務局042-387-9947) ※原則10:00より

- 7/10 (火) 議会運営委員会
- 7/11 (水) 議会運営委員会
- 7/20 (金) 議会運営委員会
- 7/24 (火) 建設環境委員会
- 8/1 (水) 厚生文教委員会
- 8/6 (月) 議会運営委員会
- 8/8 (水) 総務企画委員会
- 8/22 (水) ごみ処理施設建設等調査特別委員会
- 8/23 (木) 議会運営委員会
- 8/27 (月) 庁舎建設等調査特別委員会
- 8/29 (水) 議会運営委員会(14:00から)

●7/4はごみ処理施設建設等調査特別委員会で、小金井の事業系ごみや粗大ごみの布団をサーマルリサイクル処理している、彩の国資源循環工場を視察。7/17~19は三宅島友好視察。8/1~2は総務企画委員会で、大阪府茨木市の空き店舗活用事業と、兵庫県三田市の市民協働事業の視察に行きます。

●政務調査費に関する会派協議会を重ねています。会計担当の私が出席しています。政務調査費の使い方のルールを検討しています。

●食育議員推進懇談会に参加しています。議員提案で食育基本条例を作るうとしてるところ。今ブログも作成中です。http://shokuiku12.exblog.jp/

2011年度 片山かおるの収支報告

収入

議員報酬 8,143,800

支出

- 税、国民年金、国民健康保険 1,519,360
- 共済(議員年金) 156,800 (2011年6月で廃止)
- 市民自治こがねい特別会費 720,000
- 片山かおるといっしょにかえる
- 小金井の会特別会費 600,000
- 生活費・活動費など 5,147,640
- 支出計 8,143,800

政務調査費 360,000

議員の調査活動への市の補助金 一人月3万円を会派に支給。領収書原本と報告書を議会事務局で公開しています。この通信は政務調査費で作成。

審議会委員報酬(都市計画審議会、土地開発公社、青少年問題協議会、民生委員推せん委員) 50,000

湖南衛生組合 140,000

議員は審議会報酬等、二重取り的な報酬は必要ないと考えます。私は審議会報酬は受け取り拒否をしています。組合議会については他市との関係もあり、受け取って積み立てています。

◇片山かおる 連絡先◇

小金井市中町3-10-10-103 TEL&FAX:042-316-1511
http://katayamakaoru.net/ office@katayamakaoru.net
ツイッター：http://twitter.com/#!/katayamakaoru

●ご意見、ご感想をお寄せください。 ●古紙 100%再生紙使用